

高校生から漁師へ挑戦！

やまぐちりょうが

館浦漁業協同組合 山口 龍雅さん 19歳

漁業暦 1年

山口さんは、定置網漁業に従事しています。

山口さんは、平戸市生月町にある館浦漁協が自営する定置網漁業に従事しています。

幼い頃から漁業に魅力を感じ、漁師になるのが夢だった山口さん。高校3年生のときに参加した漁業就業支援フェアで後に師匠となる藤永専長と出会い、その人柄に惹かれ思い切って就業を決めたそうです。また、両親も山口さんの夢を応援しており、快く送り出してくれたとのこと。

長崎市内の高校を卒業後すぐに、生月町へ引越し、国の長期研修事業を活用して、各種支援を受けながら日々漁業技術の習得に励んでいます。



経歴

18歳

長崎市出身。
市内の高校卒業後、漁師を志し、平戸市生月町へ

19歳

定置網漁業の技術習得のため、
国の長期研修事業を活用し、今に至る。



山口さんの一日



いざ出港



網持ちの様子



入網した魚をすくいます。



その場で締めます。



先輩たちとのコミュニケーション

5時に起床し、6時前後に漁港に集合します。朝食を摂り、出港、8時～9時頃帰港し、選別作業や網補修作業を行います。朝食と昼食は専用の食堂で乗組員揃って食べます。とてもおいしいご飯が食べられますよ。また、入網状況により午後の操業が無い日もあります。



1日のスケジュール



休日の過ごし方

盛漁期を除くと7日/月程度休日があります。

休日はゲームをしたり、温泉に行ったりリフレッシュしています。最近、車を購入したので、行動範囲が広がり、遠くまでおいしい物を食べに行くのも楽しみの1つです。漁協の先輩に誘われて野球の試合にも時々出ます。

また、2～3連休がある時は地元に戻って友達と遊ぶことが多いです。

ちなみに、町内のオススメスポットは生月町博物館島の館です。

生月島の漁業の歴史が学べます。特に館浦漁協が監修した定置網漁業のブースは必見です。



生月大橋



生月観音



島の館（定置網ブース）

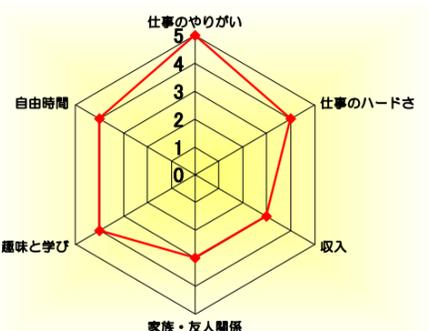
師匠の声



藤永専長

山口くんはとても素直で飛び抜けて明るい性格です。彼はムードメーカーで職場の雰囲気がとても明るくなっています。まだまだ危なっかしいところもありますが、持ち前の素直さと明るさでこれからも経験を積んでもらい、これからの漁業を担ってほしいです。

山口さんの本音チャート



漁業就業を目指す方へ

漁業は大変ですが、今までに見たことのない魚に出会った時の感動は素晴らしいものです。漁師の人は怖いイメージがあると思われがちですが、実際はそんなことはありません。とても気さくで優しい人ばかりです。国や県の研修制度も充実しているので、意欲がある人にとってはとてもいい制度です。漁師の世界に思い切って飛び込んでください！